

私は現在21才で18才の頃に免許をとりました。免許の裏には、臓器移植についての意思表示カードがついていました。看護師を目指していたこともあり、その手のニュースについては興味がありました。免許をとったことで、臓器移植というものをさらに身近に感じることができ、私は臓器移植の意思表示カードの②心臓が停止した場合にのみ臓器を提供するに丸をつけました。その時の私にはなんの迷いもなかったです。しいて言うなら①の脳死というものがよく分からなかったくらいです。

今日の講義では、人の死というものを深く考えさせられたものでした。周りの学生たちとの話し合い、意見交換を通して、みんなが考える死というものがそれぞれ違っていることに気がつきました。私は自分が考える能力がなくなった状態、または、動くことができず、自分の意識もなく、考える能力があったとしてもそれを誰かに伝えることができなくなった状態になった時には、死という道を選びたいと思ってきました。それは決してネガティブな感情から生まれて来るものではなく、まだ使える臓器を誰かに提供したいという思いから来ているものでした。私は自分の臓器が誰かの中で生きていてくれるなら、それは自分にとってはとても嬉しいことだし、誰かの為になっていると思っていました。



しかし、今日の周りの方の意見を聞いて、でもそれって、自分勝手な考えなのかな？と疑問に思ったのです。周りの学生たちは、大好きな人の体に傷をつけたくない、自分はきっとすぐには死を受容できないから側にいてほしい、など自分の大好きな人を大切に思う意見がたくさんありました。私は「あ～人って、一人で生きているんじゃないんだもん。周りの人たちがいてこそ自分なんだもん。」と考えました。私は臓器提供をしたいという思いは今も変わっていません。しかし、周りの人たちと生きているうちに、自分が脳死になった時のことを話しておくことで周りの大好きな人たちが、どう考えているのか知っておくことや自分の思いを伝えておくことって大切だなあと思いました。自分の体には自分だけのものじゃないという考えを大切にしたいと思います。

この間免許更新をしました。カードは新しくなりました。私は、きっとまた臓器移植をするに丸をつけると思います。でも今度は、1回目とはまた違い、周りの人たちのことを考えながら丸をすると思います。

